

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 兵庫県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	市町村・組合名	病院名	ページ	市町村・組合名	病院名	ページ
-	尼崎総合医療センター	2	芦屋市	芦屋病院	20	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院出石医療センタ	38
-	西宮病院	3	伊丹市	伊丹病院	21	公立豊岡病院組合	公立朝来医療センター	39
-	加古川医療センター	4	相生市	相生市民病院	22	公立八鹿病院組合	公立八鹿病院	40
-	淡路医療センター	5	赤穂市	赤穂市民病院	23	公立八鹿病院組合	公立村岡病院	41
-	ひょうごこころの医療センタ	6	西脇市	西脇病院	24	北播磨総合医療センター	北播磨総合医療センター	42
-	丹波医療センター	7	宝塚市	市立病院	25			
-	こども病院	8	高砂市	高砂市民病院	26			
-	がんセンター	9	川西市	川西病院	27			
-	姫路循環器病センター	10	三田市	三田市民病院	28			
-	粒子線医療センター	11	加西市	加西病院	29			
-	災害医療センター	12	宍粟市	公立宍粟総合病院	30			
-	リハビリテーション中央病院	13	加東市	加東市民病院	31			
-	リハビリテーション西播磨病 院	14	たつの市	たつの市民病院	32			
-	はりま姫路総合医療センター (仮称)整備事業	15	神河町	公立神崎総合病院	33			
神戸市	中央市民病院	16	香美町	公立香住病院	34			
神戸市	西市民病院	17	新温泉町	浜坂病院	35			
明石市	市民病院	18	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院	36			
西宮市	中央病院	19	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院日高医療センタ	37			

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	尼崎総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	77,378 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地特		
診療科数	48	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	714	93.4	95.0	97.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	8	74.1	70.5	71.2
感染症	8	63.5	66.3	-
計	730	92.9	94.4	95.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	9.6	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	36,197,265			
1 経常収益	36,157,567			
(1) 医業収益	32,198,681			
入院収益	21,966,385			
外来収益	9,165,655			
診療収入計	31,132,040			
その他医業収益	1,066,641			
(うち他会計負担金)	388,094			
(2) 医業外収益	3,958,886			
(うち国・都道府県補助金)	107,201			
(うち他会計補助・負担金)	2,503,434			
(うち長期前受金戻入)	1,023,193			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	39,698			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	36,495,513			
2 経常費用	36,432,741			
(1) 医業費用	34,855,009			
職員給与費	17,126,763	53.2	55.7	49.1
材料費	10,533,077	32.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	4,683,748	14.5	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,685,907	17.7	11.0	12.7
減価償却費	2,341,470	7.3	9.0	8.4
経費	4,628,960	14.4	23.3	20.7
(うち委託料)	2,710,442	8.4	11.5	11.6
研究研修費	184,869			
資産減耗費	39,870			
(2) 医業外費用	1,577,732			
(うち支払利息)	175,771	0.5	1.4	1.2
(3) 特別損失	62,772			
損益				
経常損益	-275,174			
純損益	-298,248			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.2		97.7	98.8
医業収支比率	92.4		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	91.3		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.3
修正医業収益(千円)	31,810,587

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,850,176	2,891,528
資本勘定繰入	835,880	835,880
計	3,686,056	3,727,408

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	西宮病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,256 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	400	86.2	86.1	86.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	86.2	86.1	86.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	9.6	9.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.3
修正医業収益(千円)	10,725,899

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,399,141			
1 経常収益	12,391,115			
(1) 医業収益	11,156,769			
入院収益	7,683,450			
外来収益	2,788,627			
診療収入計	10,472,077			
その他医業収益	684,692			
(うち他会計負担金)	430,870			
(2) 医業外収益	1,234,346			
(うち国・都道府県補助金)	29,006			
(うち他会計補助・負担金)	757,795			
(うち長期前受金戻入)	361,214			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,026			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,519,610			
2 経常費用	12,479,036			
(1) 医業費用	12,016,676			
職員給与費	6,930,329	62.1	55.7	54.0
材料費	2,730,395	24.5	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,343,462	12.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,305,285	11.7	11.0	12.2
減価償却費	622,552	5.6	9.0	7.9
経費	1,673,429	15.0	23.3	19.2
(うち委託料)	821,111	7.4	11.5	9.3
研究研修費	51,362			
資産減耗費	8,609			
(2) 医業外費用	462,360			
(うち支払利息)	58,889	0.5	1.4	1.3
(3) 特別損失	40,574			
損益				
経常損益	-87,921			
純損益	-120,469			
累積欠損金	2,761,331			
経常収支比率	99.3		97.7	98.8
医業収支比率	92.8		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	89.8		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,182,109	1,188,665
資本勘定繰入	781,375	781,375
計	1,963,484	1,970,040

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	加古川医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,256 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	28	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	345	83.1	79.6	83.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	7.2	-	-
計	353	81.4	77.8	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.5	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収益(千円)	10,551,407

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,949,756			
1 経常収益	12,928,939			
(1) 医業収益	10,915,558			
入院収益	6,756,293			
外来収益	3,486,341			
診療収入計	10,242,634			
その他医業収益	672,924			
(うち他会計負担金)	364,151			
(2) 医業外収益	2,013,381			
(うち国・都道府県補助金)	260,700			
(うち他会計補助・負担金)	1,003,188			
(うち長期前受金戻入)	670,803			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,817			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,139,021			
2 経常費用	13,037,496			
(1) 医業費用	12,327,118			
職員給与費	6,314,397	57.8	55.7	57.0
材料費	3,017,178	27.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,521,794	13.9	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,426,785	13.1	11.0	11.3
減価償却費	1,020,634	9.4	9.0	9.3
経費	1,891,964	17.3	23.3	22.1
(うち委託料)	1,219,056	11.2	11.5	11.1
研究研修費	36,867			
資産減耗費	46,078			
(2) 医業外費用	710,378			
(うち支払利息)	220,921	2.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	101,525			
損益				
経常損益	-108,557			
純損益	-189,265			
累積欠損金	10,718,302			
経常収支比率	99.2		97.7	96.4
医業収支比率	88.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	88.7		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,343,767	1,367,339
資本勘定繰入	748,869	748,869
計	2,092,636	2,116,208

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	淡路医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,005 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	377	88.9	89.8	91.1
療養	-	-	-	-
結核	15	15.6	21.1	17.8
精神	45	59.3	64.8	67.3
感染症	4	2.3	-	-
計	441	82.6	84.1	85.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.8	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,840,466			
1 経常収益	14,824,755			
(1) 医業収益	12,703,281			
入院収益	9,121,001			
外来収益	2,994,822			
診療収入計	12,115,823			
その他医業収益	587,458			
(うち他会計負担金)	385,870			
(2) 医業外収益	2,121,474			
(うち国・都道府県補助金)	67,078			
(うち他会計補助・負担金)	1,265,660			
(うち長期前受金戻入)	690,405			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,711			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,778,987			
2 経常費用	14,770,825			
(1) 医業費用	14,032,214			
職員給与費	7,220,911	56.8	55.7	54.0
材料費	3,679,917	29.0	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,479,901	11.6	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,121,542	16.7	11.0	12.2
減価償却費	1,098,399	8.6	9.0	7.9
経費	1,956,967	15.4	23.3	19.2
(うち委託料)	1,032,120	8.1	11.5	9.3
研究研修費	41,423			
資産減耗費	34,597			
(2) 医業外費用	738,611			
(うち支払利息)	171,014	1.3	1.4	1.3
(3) 特別損失	8,162			
損益				
経常損益	53,930			
純損益	61,479			
累積欠損金	1,921,147			
経常収支比率	100.4		97.7	98.8
医業収支比率	90.5		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	11.1		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	89.2		85.7	89.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.8
修正医業収益(千円)	12,317,411

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,632,688	1,651,530
資本勘定繰入	712,463	712,463
計	2,345,151	2,363,993

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	兵庫県	
		市町村・組合名		
		病院名	ひょうごこころの医療センター	
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	22,703 m ²	指定病院の状況	臨	
診療科数	6	看護配置	15:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	478	39.1	43.4	45.6
感染症	-	-	-	-
計	478	39.1	43.4	45.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	49.8
修正医業収益(千円)	1,983,572

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,788,988			
1 経常収益	3,786,700			
(1) 医業収益	2,339,228			
入院収益	1,615,691			
外来収益	352,642			
診療収入計	1,968,333			
その他医業収益	370,895			
(うち他会計負担金)	355,656			
(2) 医業外収益	1,447,472			
(うち国・都道府県補助金)	23,966			
(うち他会計補助・負担金)	1,220,094			
(うち長期前受金戻入)	173,649			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,288			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,165,428			
2 経常費用	4,162,836			
(1) 医業費用	3,984,149			
職員給与費	2,956,602	126.4	55.7	98.9
材料費	158,887	6.8	24.7	8.8
(うち薬品費)	71,080	3.0	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,910	1.4	11.0	1.1
減価償却費	281,094	12.0	9.0	12.7
経費	571,530	24.4	23.3	34.6
(うち委託料)	261,034	11.2	11.5	17.1
研究研修費	12,806			
資産減耗費	3,230			
(2) 医業外費用	178,687			
(うち支払利息)	89,859	3.8	1.4	2.9
(3) 特別損失	2,592			
損益				
経常損益	-376,136			
純損益	-376,440			
累積欠損金	11,946,894			
経常収支比率	91.0		97.7	98.9
医業収支比率	58.7		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.6		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	67.4		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	41.6		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	53.1		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,248,580
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,575,750	1,575,750
資本勘定繰入	348,907	348,907
計	1,924,657	1,924,657

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	丹波医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,679 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	316	61.2	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	5.0	-	-
計	320	60.6	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.7
修正医業収益(千円)	5,465,589

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,808,841			
1 経常収益	6,871,868			
(1) 医業収益	5,797,423			
入院収益	3,640,099			
外来収益	1,559,291			
診療収入計	5,199,390			
その他医業収益	598,033			
(うち他会計負担金)	331,834			
(2) 医業外収益	1,074,445			
(うち国・都道府県補助金)	66,176			
(うち他会計補助・負担金)	685,760			
(うち長期前受金戻入)	146,140			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	936,973			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,363,422			
2 経常費用	7,869,499			
(1) 医業費用	7,415,662			
職員給与費	3,984,567	68.7	55.7	57.0
材料費	1,143,636	19.7	24.7	24.5
(うち薬品費)	496,361	8.6	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	632,695	10.9	11.0	11.3
減価償却費	129,888	2.2	9.0	9.3
経費	2,097,247	36.2	23.3	22.1
(うち委託料)	1,172,884	20.2	11.5	11.1
研究研修費	16,329			
資産減耗費	43,995			
(2) 医業外費用	453,837			
(うち支払利息)	48,818	0.8	1.4	1.4
(3) 特別損失	1,493,923			
損益				
経常損益	-997,631			
純損益	-1,554,581			
累積欠損金	10,995,015			
経常収支比率	87.3		97.7	96.4
医業収支比率	78.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	13.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	74.4		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	882,217	1,017,594
資本勘定繰入	92,542	92,542
計	974,759	1,110,136

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	こども病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,324 m ²	指定病院の状況	救臨地		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	290	82.2	75.0	80.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	82.2	75.0	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.8	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収益(千円)	10,087,092

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,372,876			
1 経常収益	13,370,131			
(1) 医業収益	10,485,002			
入院収益	8,138,952			
外来収益	1,814,668			
診療収入計	9,953,620			
その他医業収益	531,382			
(うち他会計負担金)	397,910			
(2) 医業外収益	2,885,129			
(うち国・都道府県補助金)	70,969			
(うち他会計補助・負担金)	1,987,707			
(うち長期前受金戻入)	755,214			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,745			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,537,549			
2 経常費用	13,435,917			
(1) 医業費用	12,907,469			
職員給与費	7,613,419	72.6	55.7	59.8
材料費	1,979,985	18.9	24.7	19.0
(うち薬品費)	838,070	8.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,075,089	10.3	11.0	9.2
減価償却費	1,231,558	11.7	9.0	9.9
経費	2,026,249	19.3	23.3	27.7
(うち委託料)	978,041	9.3	11.5	12.4
研究研修費	50,039			
資産減耗費	6,219			
(2) 医業外費用	528,448			
(うち支払利息)	144,816	1.4	1.4	1.5
(3) 特別損失	101,632			
損益				
経常損益	-65,786			
純損益	-164,673			
累積欠損金	9,678,220			
経常収支比率	99.5		97.7	96.3
医業収支比率	81.2		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.8		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	17.8		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	81.8		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,385,617	2,385,617
資本勘定繰入	770,299	633,115
計	3,155,916	3,018,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	がんセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,820 m ²	指定病院の状況	臨カ		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	400	68.5	71.9	72.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	68.5	71.9	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.3	12.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,106,947			
1 経常収益	17,105,233			
(1) 医業収益	15,639,849			
入院収益	6,953,538			
外来収益	8,219,906			
診療収入計	15,173,444			
その他医業収益	466,405			
(うち他会計負担金)	175			
(2) 医業外収益	1,465,384			
(うち国・都道府県補助金)	38,950			
(うち他会計補助・負担金)	925,278			
(うち長期前受金戻入)	421,388			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,714			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,295,664			
2 経常費用	17,271,857			
(1) 医業費用	16,385,606			
職員給与費	6,567,343	42.0	55.7	54.0
材料費	7,218,078	46.2	24.7	26.9
(うち薬品費)	5,722,139	36.6	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,427,990	9.1	11.0	12.2
減価償却費	557,698	3.6	9.0	7.9
経費	1,789,518	11.4	23.3	19.2
(うち委託料)	1,059,474	6.8	11.5	9.3
研究研修費	118,819			
資産減耗費	134,150			
(2) 医業外費用	886,251			
(うち支払利息)	30,052	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	23,807			
損益				
経常損益	-166,624			
純損益	-188,717			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.0		97.7	98.8
医業収支比率	95.4		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	5.4		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	93.7		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.4
修正医業収益(千円)	15,639,674

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	917,426	925,453
資本勘定繰入	386,895	386,895
計	1,304,321	1,312,348

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	姫路循環器病センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,619 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	15	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	330	69.5	70.1	66.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	330	69.5	70.1	66.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.2	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.5
修正医業収益(千円)	11,150,779

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,831,766			
1 経常収益	12,828,973			
(1) 医業収益	11,514,907			
入院収益	8,674,782			
外来収益	2,304,543			
診療収入計	10,979,325			
その他医業収益	535,582			
(うち他会計負担金)	364,128			
(2) 医業外収益	1,314,066			
(うち国・都道府県補助金)	1,810			
(うち他会計補助・負担金)	853,119			
(うち長期前受金戻入)	351,573			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,793			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,112,168			
2 経常費用	13,068,667			
(1) 医業費用	12,457,780			
職員給与費	5,588,312	48.5	55.7	57.0
材料費	4,706,007	40.9	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,225,223	10.6	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,427,152	29.8	11.0	11.3
減価償却費	555,523	4.8	9.0	9.3
経費	1,494,574	13.0	23.3	22.1
(うち委託料)	754,392	6.6	11.5	11.1
研究研修費	56,313			
資産減耗費	57,051			
(2) 医業外費用	610,887			
(うち支払利息)	17,431	0.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	43,501			
損益				
経常損益	-239,694			
純損益	-280,402			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.2		97.7	96.4
医業収支比率	92.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	88.9		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,217,247	1,217,247
資本勘定繰入	344,669	344,669
計	1,561,916	1,561,916

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	粒子線医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	22,541 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	1	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	57.3	76.3	78.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	57.3	76.3	78.8
平均在院日数（一般病床のみ）		30.6	34.9	30.0

設立団体の状況		
人口（人）	5,534,800	
決算規模（千円）	1,835,299,819	
標準財政規模（千円）	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率（%）	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	14.0
	将来負担比率（%）	338.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	48.4
修正医業収益（千円）	1,523,746

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,767,835			
1 経常収益	2,767,609			
(1) 医業収益	1,523,746			
入院収益	765,873			
外来収益	719,243			
診療収入計	1,485,116			
その他医業収益	38,630			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,243,863			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	583,225			
(うち長期前受金戻入)	627,398			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	226			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,660,783			
2 経常費用	3,657,690			
(1) 医業費用	3,151,361			
職員給与費	845,045	55.5	55.7	72.6
材料費	91,660	6.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	34,988	2.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,672	3.7	11.0	5.6
減価償却費	863,097	56.6	9.0	11.1
経費	1,315,455	86.3	23.3	31.9
(うち委託料)	878,735	57.7	11.5	13.0
研究研修費	6,539			
資産減耗費	29,565			
(2) 医業外費用	506,329			
(うち支払利息)	272,028	17.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	3,093			
損益				
経常損益	-890,081			
純損益	-892,948			
累積欠損金	5,206,000			
経常収支比率	75.7		97.7	97.4
医業収支比率	48.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	38.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	59.7		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金（ ）	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,248,580
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	583,225	583,225
資本勘定繰入	999,697	999,697
計	1,582,922	1,582,922

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	25.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費（経常的経費）に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	災害医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,313 m ²	指定病院の状況	救臨 災		
診療科数	11	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	83.2	80.6	84.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	83.2	80.6	84.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.4	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,003,389			
1 経常収益	1,003,389			
(1) 医業収益	348,950			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	348,950			
(うち他会計負担金)	348,950			
(2) 医業外収益	654,439			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	436,614			
(うち長期前受金戻入)	217,649			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,003,389			
2 経常費用	1,003,389			
(1) 医業費用	902,601			
職員給与費	36,041	10.3	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	195,872	56.1	9.0	12.9
経費	662,756	189.9	23.3	47.4
(うち委託料)	662,037	189.7	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	7,932			
(2) 医業外費用	100,788			
(うち支払利息)	27,805	8.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	38.7		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	78.3		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	225.1		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	78.3		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	21.7		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,248,580
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	779,683	785,564
資本勘定繰入	269,438	269,438
計	1,049,121	1,055,002

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	リハビリテーション中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,948 m ²	指定病院の状況	救へ災		
診療科数	13	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	520	52.2	82.8	83.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	52.2	82.8	83.3
平均在院日数(一般病床のみ)		70.5	70.5	70.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	729,562			
1 経常収益	729,562			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	729,562			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	320,771			
(うち長期前受金戻入)	403,676			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	729,562			
2 経常費用	729,562			
(1) 医業費用	661,038			
職員給与費	21,659	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	386,302	-	9.0	8.4
経費	252,284	-	23.3	20.7
(うち委託料)	252,284	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	793			
(2) 医業外費用	68,524			
(うち支払利息)	29,693	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	44.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	44.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	56.0		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	304,969	320,771
資本勘定繰入	651,177	651,177
計	956,146	971,948

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	リハビリテーション西播磨病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,948 m ²	指定病院の状況			
診療科数	10	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	95.2	94.9	95.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	95.2	94.9	95.8
平均在院日数(一般病床のみ)		86.7	86.7	86.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	377,798			
1 経常収益	377,798			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	377,798			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	157,032			
(うち長期前受金戻入)	220,151			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	377,798			
2 経常費用	377,798			
(1) 医業費用	336,479			
職員給与費	10,990	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	210,627	-	9.0	10.2
経費	114,862	-	23.3	30.5
(うち委託料)	114,863	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	41,319			
(うち支払利息)	21,511	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	41.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	58.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	150,360	157,032
資本勘定繰入	342,592	342,592
計	492,952	499,624

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	兵庫県
		市町村・組合名	
		病院名	はりま姫路総合医療センター (仮称)整備事業
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	-
DPC対象病院	-	類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,835,299,819	
標準財政規模(千円)	1,059,211,091	
財政力指数	0.64482	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	338.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	-
材料費	-	-	24.7	-
(うち薬品費)	-	-	13.3	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	-
減価償却費	-	-	9.0	-
経費	-	-	23.3	-
(うち委託料)	-	-	11.5	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	-
医業収支比率	-		88.1	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	-
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	-
実質収益対経常費用比率	-		85.7	-

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	178,611,314
1 固定資産	153,524,712
(1) 有形固定資産	142,986,813
(2) 無形固定資産	150,347
(3) 投資その他の資産	10,387,552
2 流動資産	25,086,602
(1) 現金及び預金	1,916,726
(2) 未収金及び未収収益	22,654,873
(3) 貸倒引当金()	153,135
(4) 貯蔵品	517,674
3 繰延資産	-
負債合計	179,859,894
1 固定負債	126,903,831
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,442,713
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	11,461,118
(7) リース債務	-
2 流動負債	34,365,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,710,039
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,005,587
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,591,046
(1) 長期前受金	18,591,046
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-1,248,580
1 資本金	22,151,052
2 剰余金	-23,399,632
(1) 資本金剰余金	5,835,631
(2) 利益剰余金	-29,235,263
負債・資本合計	178,611,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,248,580
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	1,874,454	1,874,454
計	1,874,454	1,874,454

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	兵庫県
		市町村・組合名	神戸市
		病院名	中央市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,537,272	
決算規模(千円)	848,479,219	
標準財政規模(千円)	439,969,175	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	66.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	兵庫県
		市町村・組合名	神戸市
		病院名	西市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,537,272
決算規模(千円)		848,479,219
標準財政規模(千円)		439,969,175
財政力指数		0.79
経常収支比率(%)		99.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	66.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	-		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	兵庫県
		市町村・組合名	明石市
		病院名	市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	293,409	
決算規模(千円)	106,022,561	
標準財政規模(千円)	60,155,403	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.0
	将来負担比率(%)	25.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,598			
1 経常収益	9,598			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	9,598			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,598			
2 経常費用	9,598			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,598			
(うち支払利息)	9,598	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	西宮市
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,375 m ²	指定病院の状況	救臨	地	輪
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	257	49.0	50.0	54.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	257	49.0	50.0	54.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	10.6	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	487,850	
決算規模(千円)	174,383,943	
標準財政規模(千円)	96,281,582	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	6.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	4,229,888

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,241,545			
1 経常収益	5,237,864			
(1) 医業収益	4,492,363			
入院収益	2,440,161			
外来収益	1,526,629			
診療収入計	3,966,790			
その他医業収益	525,573			
(うち他会計負担金)	262,475			
(2) 医業外収益	745,501			
(うち国・都道府県補助金)	6,287			
(うち他会計補助・負担金)	696,903			
(うち長期前受金戻入)	7,658			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,681			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,537,733			
2 経常費用	6,519,346			
(1) 医業費用	6,283,003			
職員給与費	2,556,596	56.9	55.7	59.8
材料費	1,123,680	25.0	24.7	19.0
(うち薬品費)	691,872	15.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	427,199	9.5	11.0	9.2
減価償却費	516,022	11.5	9.0	9.9
経費	2,060,762	45.9	23.3	27.7
(うち委託料)	620,739	13.8	11.5	12.4
研究研修費	23,949			
資産減耗費	1,994			
(2) 医業外費用	236,343			
(うち支払利息)	5,325	0.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	18,387			
損益				
経常損益	-1,281,482			
純損益	-1,296,188			
累積欠損金	16,002,155			
経常収支比率	80.3		97.7	96.3
医業収支比率	71.5		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.4		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	65.6		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,623,571
1 固定資産	4,749,011
(1) 有形固定資産	4,618,184
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	130,827
2 流動資産	874,560
(1) 現金及び預金	237,351
(2) 未収金及び未収収益	617,972
(3) 貸倒引当金()	735
(4) 貯蔵品	19,965
3 繰延資産	-
負債合計	7,349,528
1 固定負債	5,541,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,063,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,509,906
(6) 引当金	968,199
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,686,871
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	747,506
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	6,600
(5) 引当金	162,743
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	740,500
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	121,341
(1) 長期前受金	467,490
(2) 長期前受金収益化累計額()	346,149
資本合計	-1,725,957
1 資本金	13,550,598
2 剰余金	-15,276,555
(1) 資本金剰余金	725,600
(2) 利益剰余金	-16,002,155
負債・資本合計	5,623,571
不良債務	64,805
実質資金不足額	64,805
資金不足額()	1,725,957
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,604,616
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	861,254	959,378
資本勘定繰入	454,892	1,610,140
計	1,316,146	2,569,518

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	64,805	1.4
平成30年度	176,770	3.9
平成29年度	381,831	8.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	356.2
健全化法上の資金不足額(千円)	61,695
健全化法上の資金不足比率(%)	1.3
地財法上の資金不足額(千円)	64,805
地財法上の資金不足比率(%)	1.4

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	芦屋市
				病院名	芦屋病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,045 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	87.2	90.9	86.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	87.2	90.9	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.9	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	95,350	
決算規模(千円)	40,248,446	
標準財政規模(千円)	23,429,646	
財政力指数	1.01	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	85.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,305,769			
1 経常収益	5,305,693			
(1) 医業収益	4,917,059			
入院収益	3,140,727			
外来収益	1,101,755			
診療収入計	4,242,482			
その他医業収益	674,577			
(うち他会計負担金)	269,598			
(2) 医業外収益	388,634			
(うち国・都道府県補助金)	3,607			
(うち他会計補助・負担金)	309,717			
(うち長期前受金戻入)	1,384			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	76			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,367,219			
2 経常費用	5,348,955			
(1) 医業費用	5,104,580			
職員給与費	2,408,822	49.0	55.7	61.3
材料費	875,053	17.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	492,263	10.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	343,337	7.0	11.0	8.2
減価償却費	452,723	9.2	9.0	10.2
経費	1,348,148	27.4	23.3	30.5
(うち委託料)	477,126	9.7	11.5	13.0
研究研修費	12,299			
資産減耗費	7,535			
(2) 医業外費用	244,375			
(うち支払利息)	93,243	1.9	1.4	1.6
(3) 特別損失	18,264			
損益				
経常損益	-43,262			
純損益	-61,450			
累積欠損金	12,216,900			
経常収支比率	99.2		97.7	96.5
医業収支比率	96.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	88.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,826,145
1 固定資産	4,912,965
(1) 有形固定資産	4,864,310
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	48,655
2 流動資産	913,180
(1) 現金及び預金	241,558
(2) 未収金及び未収収益	680,537
(3) 貸倒引当金()	8,944
(4) 貯蔵品	29
3 繰延資産	-
負債合計	10,357,673
1 固定負債	9,171,647
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,916,162
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,391,410
(6) 引当金	864,075
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,169,084
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	352,406
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	360,400
(5) 引当金	178,321
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	257,913
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,942
(1) 長期前受金	53,009
(2) 長期前受金収益化累計額()	36,067
資本合計	-4,531,528
1 資本金	7,670,572
2 剰余金	-12,202,100
(1) 資本剰余金	14,800
(2) 利益剰余金	-12,216,900
負債・資本合計	5,826,145
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	4,531,528
資本不足額(繰延収益控除後)()	4,514,586
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.0
修正医業収益(千円)	4,647,461

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	576,291	579,315
資本勘定繰入	133,359	134,109
計	709,650	713,424

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	248.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	伊丹市
				病院名	伊丹病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,295 m ²	指定病院の状況	救臨が地		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	414	80.6	85.5	84.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	414	80.6	85.5	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	11.0	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	196,883	
決算規模(千円)	75,399,871	
標準財政規模(千円)	41,330,214	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,738,166			
1 経常収益	12,705,066			
(1) 医業収益	11,589,972			
入院収益	7,593,798			
外来収益	3,379,724			
診療収入計	10,973,522			
その他医業収益	616,450			
(うち他会計負担金)	293,923			
(2) 医業外収益	1,115,094			
(うち国・都道府県補助金)	25,480			
(うち他会計補助・負担金)	551,136			
(うち長期前受金戻入)	378,435			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33,100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,591,078			
2 経常費用	12,591,078			
(1) 医業費用	12,126,474			
職員給与費	5,775,566	49.8	55.7	54.0
材料費	3,240,852	28.0	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,423,910	12.3	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,754,970	15.1	11.0	12.2
減価償却費	696,447	6.0	9.0	7.9
経費	2,370,037	20.4	23.3	19.2
(うち委託料)	992,766	8.6	11.5	9.3
研究研修費	39,886			
資産減耗費	3,686			
(2) 医業外費用	464,604			
(うち支払利息)	4,169	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	113,988			
純損益	147,088			
累積欠損金	5,158,697			
経常収支比率	100.9		97.7	98.8
医業収支比率	95.6		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	94.2		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,136,057
1 固定資産	8,171,394
(1) 有形固定資産	7,850,511
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	320,883
2 流動資産	2,964,663
(1) 現金及び預金	624,120
(2) 未収金及び未収収益	2,327,753
(3) 貸倒引当金()	8,048
(4) 貯蔵品	20,838
3 繰延資産	-
負債合計	7,993,620
1 固定負債	4,137,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,673,386
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	80,000
(6) 引当金	2,371,165
(7) リース債務	13,363
2 流動負債	2,314,368
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	488,580
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	375,338
(6) リース債務	4,679
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,340,582
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,541,338
(1) 長期前受金	9,585,878
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,044,540
資本合計	3,142,437
1 資本金	3,237,565
2 剰余金	-95,128
(1) 資本金剰余金	5,063,569
(2) 利益剰余金	-5,158,697
負債・資本合計	11,136,057
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.2
修正医業収益(千円)	11,296,049

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	845,059	845,059
資本勘定繰入	307,346	355,463
計	1,152,405	1,200,522

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	相生市
				病院名	相生市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,424 m ²	指定病院の状況			
診療科数	9	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	43.8	41.3	41.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	43.8	41.3	41.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	18.9	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	30,129	
決算規模(千円)	12,979,157	
標準財政規模(千円)	8,012,706	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	91.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.1
修正医業収益(千円)	559,747

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	644,278			
1 経常収益	644,278			
(1) 医業収益	564,835			
入院収益	281,775			
外来収益	256,482			
診療収入計	538,257			
その他医業収益	26,578			
(うち他会計負担金)	5,088			
(2) 医業外収益	79,443			
(うち国・都道府県補助金)	1,425			
(うち他会計補助・負担金)	52,007			
(うち長期前受金戻入)	18,856			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	655,491			
2 経常費用	655,235			
(1) 医業費用	628,475			
職員給与費	261,191	46.2	55.7	72.6
材料費	178,410	31.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	161,198	28.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,212	3.0	11.0	5.6
減価償却費	31,498	5.6	9.0	11.1
経費	157,058	27.8	23.3	31.9
(うち委託料)	70,663	12.5	11.5	13.0
研究研修費	318			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,760			
(うち支払利息)	97	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	256			
損益				
経常損益	-10,957			
純損益	-11,213			
累積欠損金	528,876			
経常収支比率	98.3		97.7	97.4
医業収支比率	89.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	89.6		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	436,343
1 固定資産	290,346
(1) 有形固定資産	290,308
(2) 無形固定資産	30
(3) 投資その他の資産	8
2 流動資産	145,997
(1) 現金及び預金	44,161
(2) 未収金及び未収収益	94,370
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,466
3 繰延資産	-
負債合計	350,564
1 固定負債	42,971
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,207
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,764
(7) リース債務	-
2 流動負債	101,892
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,273
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,890
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67,729
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	205,701
(1) 長期前受金	826,080
(2) 長期前受金収益化累計額()	620,379
資本合計	85,779
1 資本金	236,703
2 剰余金	-150,924
(1) 資本金剰余金	377,952
(2) 利益剰余金	-528,876
負債・資本合計	436,343
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	98,890	57,095
資本勘定繰入	7,360	7,360
計	106,250	64,455

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	赤穂市
	病院名	赤穂市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,911 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
診療科数	23	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	356	70.1	59.5	60.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.8	-	-
計	360	69.3	58.9	60.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.3	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	48,567	
決算規模(千円)	20,666,247	
標準財政規模(千円)	12,296,473	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	129.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,101,443			
1 経常収益	8,099,990			
(1) 医業収益	7,689,292			
入院収益	4,963,754			
外来収益	2,315,635			
診療収入計	7,279,389			
その他医業収益	409,903			
(うち他会計負担金)	72,924			
(2) 医業外収益	410,698			
(うち国・都道府県補助金)	17,347			
(うち他会計補助・負担金)	341,685			
(うち長期前受金戻入)	9,754			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,453			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,913,643			
2 経常費用	8,909,067			
(1) 医業費用	8,363,609			
職員給与費	4,007,826	52.1	55.7	57.0
材料費	1,843,475	24.0	24.7	24.5
(うち薬品費)	761,332	9.9	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,015,533	13.2	11.0	11.3
減価償却費	658,675	8.6	9.0	9.3
経費	1,816,704	23.6	23.3	22.1
(うち委託料)	867,140	11.3	11.5	11.1
研究研修費	28,251			
資産減耗費	8,678			
(2) 医業外費用	545,458			
(うち支払利息)	137,131	1.8	1.4	1.4
(3) 特別損失	4,576			
損益				
経常損益	-809,077			
純損益	-812,200			
累積欠損金	5,740,179			
経常収支比率	90.9		97.7	96.4
医業収支比率	91.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	86.3		85.7	85.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,258,511
1 固定資産	12,476,441
(1) 有形固定資産	11,981,738
(2) 無形固定資産	2,160
(3) 投資その他の資産	492,543
2 流動資産	1,782,070
(1) 現金及び預金	526,955
(2) 未収金及び未収収益	1,238,287
(3) 貸倒引当金()	8,712
(4) 貯蔵品	23,749
3 繰延資産	-
負債合計	12,889,577
1 固定負債	9,477,838
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,079,223
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	943,895
(7) リース債務	54,720
2 流動負債	3,176,814
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,255,492
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	259,678
(6) リース債務	13,680
(7) 一時借入金	1,100,000
(8) 未払金及び未払費用	503,773
(9) 前受金及び前受収益	44,191
3 繰延収益	234,925
(1) 長期前受金	568,269
(2) 長期前受金収益化累計額()	333,344
資本合計	1,368,934
1 資本金	7,081,495
2 剰余金	-5,712,561
(1) 資本金剰余金	27,618
(2) 利益剰余金	-5,740,179
負債・資本合計	14,258,511
不良債務	139,252
実質資金不足額	139,252
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.1
修正医業収益(千円)	7,616,368

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	557,992	414,609
資本勘定繰入	648,246	927,341
計	1,206,238	1,341,950

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	139,252	1.8
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	74.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	139,252
地財法上の資金不足比率(%)	1.8

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	西脇市
				病院名	西脇病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,674 m ²	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
診療科数	24	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	320	91.3	93.2	86.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	91.3	93.2	86.3
平均在院日数（一般病床のみ）		16.9	16.6	15.6

設立団体の状況		
人口（人）	40,866	
決算規模（千円）	20,540,623	
標準財政規模（千円）	11,572,122	
財政力指数	0.45	
経常収支比率（%）	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.9
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	88.3
修正医業収益（千円）	7,184,661

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,356,310			
1 経常収益	8,353,002			
(1) 医業収益	7,363,585			
入院収益	5,351,548			
外来収益	1,639,516			
診療収入計	6,991,064			
その他医業収益	372,521			
(うち他会計負担金)	178,924			
(2) 医業外収益	989,417			
(うち国・都道府県補助金)	28,926			
(うち他会計補助・負担金)	478,697			
(うち長期前受金戻入)	425,267			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,308			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,354,248			
2 経常費用	8,344,171			
(1) 医業費用	8,135,213			
職員給与費	4,278,944	58.1	55.7	57.0
材料費	1,527,908	20.7	24.7	24.5
(うち薬品費)	721,455	9.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	806,453	11.0	11.0	11.3
減価償却費	714,266	9.7	9.0	9.3
経費	1,577,747	21.4	23.3	22.1
(うち委託料)	860,074	11.7	11.5	11.1
研究研修費	33,126			
資産減耗費	3,222			
(2) 医業外費用	208,958			
(うち支払利息)	156,921	2.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	10,077			
損益				
経常損益	8,831			
純損益	2,062			
累積欠損金	2,009,565			
経常収支比率	100.1		97.7	96.4
医業収支比率	90.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	92.2		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,426,943
1 固定資産	8,511,012
(1) 有形固定資産	8,179,780
(2) 無形固定資産	4,664
(3) 投資その他の資産	326,568
2 流動資産	2,915,931
(1) 現金及び預金	1,636,601
(2) 未収金及び未収収益	1,230,251
(3) 貸倒引当金（ ）	1,380
(4) 貯蔵品	49,739
3 繰延資産	-
負債合計	11,145,249
1 固定負債	9,582,046
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,639,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,942,270
(7) リース債務	671
2 流動負債	1,367,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	681,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	196,668
(6) リース債務	620
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,642
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	195,466
(1) 長期前受金	3,420,943
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,225,477
資本合計	281,694
1 資本金	1,163,767
2 剰余金	-882,073
(1) 資本金剰余金	1,127,492
(2) 利益剰余金	-2,009,565
負債・資本合計	11,426,943
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	657,621	657,621
資本勘定繰入	392,379	392,379
計	1,050,000	1,050,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	27.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	宝塚市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,903 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	30	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	436	78.0	74.1	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	436	78.0	74.1	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	11.2	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	224,903	
決算規模(千円)	78,313,220	
標準財政規模(千円)	44,106,083	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.6
	将来負担比率(%)	22.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,489,620			
1 経常収益	12,087,180			
(1) 医業収益	11,088,758			
入院収益	6,719,603			
外来収益	3,788,844			
診療収入計	10,508,447			
その他医業収益	580,311			
(うち他会計負担金)	417,629			
(2) 医業外収益	998,422			
(うち国・都道府県補助金)	12,869			
(うち他会計補助・負担金)	472,170			
(うち長期前受金戻入)	25,082			
(うち資本費繰入収益)	347,438			
(3) 特別利益	402,440			
(うち他会計繰入金)	400,000			
総費用	12,540,945			
2 経常費用	12,533,401			
(1) 医業費用	12,024,519			
職員給与費	6,240,167	56.3	55.7	54.0
材料費	2,616,596	23.6	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,545,421	13.9	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,071,175	9.7	11.0	12.2
減価償却費	739,788	6.7	9.0	7.9
経費	2,378,920	21.5	23.3	19.2
(うち委託料)	1,154,170	10.4	11.5	9.3
研究研修費	35,503			
資産減耗費	13,545			
(2) 医業外費用	508,882			
(うち支払利息)	75,059	0.7	1.4	1.3
(3) 特別損失	7,544			
損益				
経常損益	-446,221			
純損益	-51,325			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.4		97.7	98.8
医業収支比率	92.2		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	89.3		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,786,994
1 固定資産	13,638,013
(1) 有形固定資産	11,661,460
(2) 無形固定資産	2,623
(3) 投資その他の資産	1,973,930
2 流動資産	2,148,981
(1) 現金及び預金	261,296
(2) 未収金及び未収収益	1,775,534
(3) 貸倒引当金()	1,832
(4) 貯蔵品	111,246
3 繰延資産	-
負債合計	12,288,349
1 固定負債	7,643,397
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,147,407
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,410,000
(6) 引当金	85,990
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,417,419
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	764,251
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	550,000
(5) 引当金	463,553
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,500,000
(8) 未払金及び未払費用	1,060,459
(9) 前受金及び前受収益	40,147
3 繰延収益	227,533
(1) 長期前受金	957,534
(2) 長期前受金収益化累計額()	730,001
資本合計	3,498,645
1 資本金	2,816,580
2 剰余金	682,065
(1) 資本金剰余金	475,215
(2) 利益剰余金	206,850
負債・資本合計	15,786,994
不良債務	1,504,187
実質資金不足額	1,504,187
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.7
修正医業収益(千円)	10,671,129

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	882,908	1,289,799
資本勘定繰入	401,718	401,718
計	1,284,626	1,691,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,504,187	13.6
平成30年度	1,213,498	12.0
平成29年度	1,306,613	12.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	1,504,187
健全化法上の資金不足比率(%)	13.5
地財法上の資金不足額(千円)	1,504,187
地財法上の資金不足比率(%)	13.5

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	高砂市
	病院名	高砂市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,659 m ²	指定病院の状況	救臨地輪
診療科数	21	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	290	49.2	46.3	46.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	49.2	46.3	46.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	16.8	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	91,030	
決算規模(千円)	39,917,084	
標準財政規模(千円)	20,437,829	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	66.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,939,597			
1 経常収益	4,459,243			
(1) 医業収益	4,038,660			
入院収益	2,317,702			
外来収益	1,432,039			
診療収入計	3,749,741			
その他医業収益	288,919			
(うち他会計負担金)	170,000			
(2) 医業外収益	420,583			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	155,846			
(うち長期前受金戻入)	238,399			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	480,354			
(うち他会計繰入金)	394,412			
総費用	4,938,731			
2 経常費用	4,938,603			
(1) 医業費用	4,762,148			
職員給与費	2,716,759	67.3	55.7	59.8
材料費	616,041	15.3	24.7	19.0
(うち薬品費)	245,141	6.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	340,488	8.4	11.0	9.2
減価償却費	400,978	9.9	9.0	9.9
経費	1,016,090	25.2	23.3	27.7
(うち委託料)	405,461	10.0	11.5	12.4
研究研修費	12,280			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	176,455			
(うち支払利息)	4,047	0.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	128			
損益				
経常損益	-479,360			
純損益	866			
累積欠損金	7,903,308			
経常収支比率	90.3		97.7	96.3
医業収支比率	84.8		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	14.6		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	83.7		85.7	83.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,871,866
1 固定資産	5,780,695
(1) 有形固定資産	5,672,858
(2) 無形固定資産	2,000
(3) 投資その他の資産	105,837
2 流動資産	1,091,171
(1) 現金及び預金	505,754
(2) 未収金及び未収収益	574,924
(3) 貸倒引当金()	3,400
(4) 貯蔵品	13,893
3 繰延資産	-
負債合計	4,115,216
1 固定負債	2,191,700
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	741,163
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,405,198
(7) リース債務	45,339
2 流動負債	746,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	222,973
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	180,357
(6) リース債務	48,506
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	212,273
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,176,642
(1) 長期前受金	2,494,330
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,317,688
資本合計	2,756,650
1 資本金	10,659,958
2 剰余金	-7,903,308
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-7,903,308
負債・資本合計	6,871,866
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	3,868,660

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	325,846	720,258
資本勘定繰入	206,528	206,528
計	532,374	926,786

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	195.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	川西市
				病院名	川西病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,540 m ²	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	250	50.8	62.4	76.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	50.8	62.4	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	12.3	13.4

設立団体の状況		
人口(人)		156,375
決算規模(千円)		56,981,834
標準財政規模(千円)		30,807,338
財政力指数		0.72
経常収支比率(%)		96.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	107.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.2
修正医業収益(千円)	9,457

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,070,058			
1 経常収益	960,286			
(1) 医業収益	159,457			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	159,457			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	800,829			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	547,788			
(うち長期前受金戻入)	141,069			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	109,772			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	844,053			
2 経常費用	840,385			
(1) 医業費用	783,753			
職員給与費	72,700	45.6	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	239,003	149.9	9.0	9.9
経費	467,924	293.4	23.3	27.7
(うち委託料)	15,673	9.8	11.5	12.4
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	4,126	-	-	-
(2) 医業外費用	56,632			
(うち支払利息)	10,993	6.9	1.4	1.5
(3) 特別損失	3,668			
損益				
経常損益	119,901			
純損益	226,005			
累積欠損金	4,821,495			
経常収支比率	114.3		97.7	96.3
医業収支比率	20.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	72.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	437.6		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	65.2		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	31.2		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,350,209
1 固定資産	4,282,430
(1) 有形固定資産	4,090,741
(2) 無形固定資産	134,807
(3) 投資その他の資産	56,882
2 流動資産	67,779
(1) 現金及び預金	53,176
(2) 未収金及び未収収益	17,030
(3) 貸倒引当金()	2,427
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	7,135,453
1 固定負債	5,714,432
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,904,540
(2) その他の企業債	95,220
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	192,700
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	758,921
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	230,007
(2) その他の企業債	31,740
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	296,167
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	662,100
(1) 長期前受金	4,519,116
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,857,016
資本合計	-2,785,244
1 資本金	110,184
2 剰余金	-2,895,428
(1) 資本金剰余金	1,926,067
(2) 利益剰余金	-4,821,495
負債・資本合計	4,350,209
不良債務	461,135
実質資金不足額	461,135
資金不足額()	2,785,244
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,123,144
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,382	697,788
資本勘定繰入	108,438	154,350
計	342,820	852,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	461,135	289.2
平成30年度	570,649	14.2
平成29年度	788,759	17.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3023.7
健全化法上の資金不足額(千円)	461,135
健全化法上の資金不足比率(%)	13.9
地財法上の資金不足額(千円)	556,355
地財法上の資金不足比率(%)	348.9

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	三田市
				病院名	三田市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,928 m ²	指定病院の状況	救臨地		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	80.4	81.7	83.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	80.4	81.7	83.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	9.8	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	112,691	
決算規模(千円)	36,990,267	
標準財政規模(千円)	23,196,122	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.6
修正医業収益(千円)	7,426,330

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,807,790			
1 経常収益	8,697,343			
(1) 医業収益	7,787,642			
入院収益	5,254,505			
外来収益	1,929,536			
診療収入計	7,184,041			
その他医業収益	603,601			
(うち他会計負担金)	361,312			
(2) 医業外収益	909,701			
(うち国・都道府県補助金)	6,095			
(うち他会計補助・負担金)	630,661			
(うち長期前受金戻入)	176,731			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	110,447			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,781,765			
2 経常費用	8,759,671			
(1) 医業費用	8,284,934			
職員給与費	3,965,199	50.9	55.7	57.0
材料費	1,738,696	22.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	630,515	8.1	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,048,174	13.5	11.0	11.3
減価償却費	440,249	5.7	9.0	9.3
経費	2,097,719	26.9	23.3	22.1
(うち委託料)	669,050	8.6	11.5	11.1
研究研修費	19,522			
資産減耗費	23,549			
(2) 医業外費用	474,737			
(うち支払利息)	188,460	2.4	1.4	1.4
(3) 特別損失	22,094			
損益				
経常損益	-62,328			
純損益	26,025			
累積欠損金	1,570,362			
経常収支比率	99.3		97.7	96.4
医業収支比率	94.0		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	88.0		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,872,624
1 固定資産	9,578,890
(1) 有形固定資産	9,288,962
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	289,928
2 流動資産	1,293,734
(1) 現金及び預金	136,346
(2) 未収金及び未収収益	1,088,505
(3) 貸倒引当金()	4,118
(4) 貯蔵品	71,206
3 繰延資産	-
負債合計	9,406,057
1 固定負債	4,173,752
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,173,752
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,984,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,156,284
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	267,588
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	520,152
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,247,557
(1) 長期前受金	11,394,530
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,146,973
資本合計	1,466,567
1 資本金	793,700
2 剰余金	672,867
(1) 資本金剰余金	2,243,229
(2) 利益剰余金	-1,570,362
負債・資本合計	10,872,624
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	862,383	991,973
資本勘定繰入	706,852	706,852
計	1,569,235	1,698,825

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	加西市
				病院名	加西病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,166 m ²	指定病院の状況	救臨	感	輪
診療科数	17	看護配置	10	:	1
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	260	70.5	74.1	73.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	0.1	-	-
計	266	68.9	72.4	71.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	16.9	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	44,313	
決算規模(千円)	22,488,629	
標準財政規模(千円)	11,556,145	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	69.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.6
修正医業収益(千円)	4,332,816

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,102,855			
1 経常収益	5,102,327			
(1) 医業収益	4,580,655			
入院収益	2,940,857			
外来収益	1,191,831			
診療収入計	4,132,688			
その他医業収益	447,967			
(うち他会計負担金)	247,839			
(2) 医業外収益	521,672			
(うち国・都道府県補助金)	13,640			
(うち他会計補助・負担金)	480,629			
(うち長期前受金戻入)	2,985			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	528			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,519,766			
2 経常費用	5,517,766			
(1) 医業費用	5,311,606			
職員給与費	2,863,328	62.5	55.7	59.8
材料費	799,479	17.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	311,170	6.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	441,688	9.6	11.0	9.2
減価償却費	350,212	7.6	9.0	9.9
経費	1,279,522	27.9	23.3	27.7
(うち委託料)	536,670	11.7	11.5	12.4
研究研修費	16,954			
資産減耗費	2,111			
(2) 医業外費用	206,160			
(うち支払利息)	33,543	0.7	1.4	1.5
(3) 特別損失	2,000			
損益				
経常損益	-415,439			
純損益	-416,911			
累積欠損金	6,921,378			
経常収支比率	92.5		97.7	96.3
医業収支比率	86.2		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	79.3		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,499,985
1 固定資産	2,789,815
(1) 有形固定資産	2,758,771
(2) 無形固定資産	60
(3) 投資その他の資産	30,984
2 流動資産	710,170
(1) 現金及び預金	13,251
(2) 未収金及び未収収益	687,486
(3) 貸倒引当金()	1,731
(4) 貯蔵品	10,484
3 繰延資産	-
負債合計	4,592,356
1 固定負債	2,931,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,210,900
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	718,171
(7) リース債務	2,263
2 流動負債	1,630,538
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	364,304
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	200,045
(6) リース債務	876
(7) 一時借入金	690,000
(8) 未払金及び未払費用	352,322
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	30,484
(1) 長期前受金	156,892
(2) 長期前受金収益化累計額()	126,408
資本合計	-1,092,371
1 資本金	5,808,017
2 剰余金	-6,900,388
(1) 資本金剰余金	19,877
(2) 利益剰余金	-6,920,265
負債・資本合計	3,499,985
不良債務	556,064
実質資金不足額	556,064
資金不足額()	1,092,371
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,061,887
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	770,154	728,468
資本勘定繰入	171,532	171,532
計	941,686	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	556,064	12.1
平成30年度	389,212	8.2
平成29年度	209,038	4.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.1
健全化法上の資金不足額(千円)	497,983
健全化法上の資金不足比率(%)	10.8
地財法上の資金不足額(千円)	556,064
地財法上の資金不足比率(%)	12.1

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	宍粟市
				病院名	公立宍粟総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,078 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪		
診療科数	12	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	70.7	62.3	66.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	70.7	62.3	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.4	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	37,773	
決算規模(千円)	24,643,499	
標準財政規模(千円)	14,748,109	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	116.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.1
修正医業収益(千円)	3,547,974

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,000,383			
1 経常収益	4,000,383			
(1) 医業収益	3,646,853			
入院収益	2,196,133			
外来収益	1,217,720			
診療収入計	3,413,853			
その他医業収益	233,000			
(うち他会計負担金)	98,879			
(2) 医業外収益	353,530			
(うち国・都道府県補助金)	6,309			
(うち他会計補助・負担金)	305,527			
(うち長期前受金戻入)	3,737			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,962,199			
2 経常費用	3,962,199			
(1) 医業費用	3,810,705			
職員給与費	1,987,325	54.5	55.7	61.3
材料費	645,122	17.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	273,646	7.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	328,803	9.0	11.0	8.2
減価償却費	221,008	6.1	9.0	10.2
経費	946,829	26.0	23.3	30.5
(うち委託料)	252,251	6.9	11.5	13.0
研究研修費	7,727			
資産減耗費	2,694			
(2) 医業外費用	151,494			
(うち支払利息)	41,011	1.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	38,184			
純損益	38,184			
累積欠損金	5,016,730			
経常収支比率	101.0		97.7	96.5
医業収支比率	95.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	90.8		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,021,688
1 固定資産	3,335,855
(1) 有形固定資産	3,146,561
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	189,294
2 流動資産	685,833
(1) 現金及び預金	88,925
(2) 未収金及び未収収益	581,229
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	15,679
3 繰延資産	-
負債合計	3,195,769
1 固定負債	1,958,924
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,958,924
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,060,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	314,942
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	134,369
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	243,109
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	176,588
(1) 長期前受金	234,706
(2) 長期前受金収益化累計額()	58,118
資本合計	825,919
1 資本金	5,821,892
2 剰余金	-4,995,973
(1) 資本剰余金	20,757
(2) 利益剰余金	-5,016,730
負債・資本合計	4,021,688
不良債務	59,482
実質資金不足額	59,482
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	388,367	404,406
資本勘定繰入	180,995	200,694
計	569,362	605,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	59,482	1.6
平成30年度	207,209	6.2
平成29年度	181,023	5.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	137.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	59,482
地財法上の資金不足比率(%)	1.6

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	加東市
	病院名	加東市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,954 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	139	78.8	79.6	73.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	139	78.8	79.6	73.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	19.0	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	40,310	
決算規模(千円)	18,477,091	
標準財政規模(千円)	11,934,561	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,505,967			
1 経常収益	2,474,185			
(1) 医業収益	1,925,187			
入院収益	1,338,449			
外来収益	373,830			
診療収入計	1,712,279			
その他医業収益	212,908			
(うち他会計負担金)	127,643			
(2) 医業外収益	548,998			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	195,196			
(うち長期前受金戻入)	342			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	31,782			
(うち他会計繰入金)	30,104			
総費用	2,570,048			
2 経常費用	2,568,090			
(1) 医業費用	2,134,800			
職員給与費	1,415,782	73.5	55.7	61.3
材料費	246,193	12.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	127,476	6.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	96,064	5.0	11.0	8.2
減価償却費	131,868	6.8	9.0	10.2
経費	332,475	17.3	23.3	30.5
(うち委託料)	199,383	10.4	11.5	13.0
研究研修費	4,524			
資産減耗費	3,958			
(2) 医業外費用	433,290			
(うち支払利息)	6,720	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	1,958			
損益				
経常損益	-93,905			
純損益	-64,081			
累積欠損金	1,918,978			
経常収支比率	96.3		97.7	96.5
医業収支比率	90.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	83.8		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,801,106
1 固定資産	1,850,247
(1) 有形固定資産	1,850,247
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	950,859
(1) 現金及び預金	634,244
(2) 未収金及び未収収益	299,653
(3) 貸倒引当金()	157
(4) 貯蔵品	16,969
3 繰延資産	-
負債合計	1,154,407
1 固定負債	726,135
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	383,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	257,156
(6) 引当金	-
(7) リース債務	85,193
2 流動負債	417,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,772
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,845
(5) 引当金	117,745
(6) リース債務	71,174
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	114,959
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	11,046
(1) 長期前受金	24,306
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,260
資本合計	1,646,699
1 資本金	3,545,895
2 剰余金	-1,899,196
(1) 資本剰余金	17,772
(2) 利益剰余金	-1,916,968
負債・資本合計	2,801,106
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.2
修正医業収益(千円)	1,797,544

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	322,587	352,943
資本勘定繰入	64,671	81,785
計	387,258	434,728

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	99.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	たつの市
				病院名	たつの市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,263 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	86.1	84.5	78.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	86.1	84.5	78.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	18.3	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	77,419	
決算規模(千円)	35,289,733	
標準財政規模(千円)	20,834,687	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	88.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	16.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.8
修正医業収益(千円)	1,617,853

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,746,612			
1 経常収益	2,295,934			
(1) 医業収益	1,674,755			
入院収益	1,192,671			
外来収益	339,996			
診療収入計	1,532,667			
その他医業収益	142,088			
(うち他会計負担金)	56,902			
(2) 医業外収益	621,179			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	303,723			
(うち長期前受金戻入)	116,661			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	450,678			
(うち他会計繰入金)	446,025			
総費用	2,444,999			
2 経常費用	2,232,091			
(1) 医業費用	1,954,362			
職員給与費	1,350,515	80.6	55.7	61.3
材料費	184,084	11.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	71,718	4.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	85,461	5.1	11.0	8.2
減価償却費	113,908	6.8	9.0	10.2
経費	299,083	17.9	23.3	30.5
(うち委託料)	114,733	6.9	11.5	13.0
研究研修費	3,462			
資産減耗費	3,310			
(2) 医業外費用	277,729			
(うち支払利息)	8,087	0.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	212,908			
損益				
経常損益	63,843			
純損益	301,613			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.9		97.7	96.5
医業収支比率	85.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	29.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,685,252
1 固定資産	1,520,457
(1) 有形固定資産	1,513,896
(2) 無形固定資産	6,561
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,164,795
(1) 現金及び預金	880,393
(2) 未収金及び未収収益	280,147
(3) 貸倒引当金()	2,073
(4) 貯蔵品	6,138
3 繰延資産	-
負債合計	2,250,754
1 固定負債	933,292
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	487,267
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	446,025
(7) リース債務	-
2 流動負債	259,168
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,452
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,831
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	120,910
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,058,294
(1) 長期前受金	2,282,729
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,224,435
資本合計	434,498
1 資本金	424,588
2 剰余金	9,910
(1) 資本剰余金	1,500
(2) 利益剰余金	8,410
負債・資本合計	2,685,252
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	286,891	806,650
資本勘定繰入	23,350	393,350
計	310,241	1,200,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	68,182	4.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	神河町
				病院名	公立神崎総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	15,988 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	140	73.5	72.0	70.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	73.5	72.0	70.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.3	19.6	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	11,452	
決算規模(千円)	8,878,205	
標準財政規模(千円)	5,004,958	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.8
	将来負担比率(%)	76.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.8
修正医業収益(千円)	2,469,766

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,100,197			
1 経常収益	3,100,197			
(1) 医業収益	2,679,639			
入院収益	1,430,443			
外来収益	853,854			
診療収入計	2,284,297			
その他医業収益	395,342			
(うち他会計負担金)	209,873			
(2) 医業外収益	420,558			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	390,137			
(うち長期前受金戻入)	8,117			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,394,250			
2 経常費用	3,136,781			
(1) 医業費用	3,020,547			
職員給与費	2,111,085	78.8	55.7	61.3
材料費	321,907	12.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	81,501	3.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	212,733	7.9	11.0	8.2
減価償却費	234,907	8.8	9.0	10.2
経費	337,952	12.6	23.3	30.5
(うち委託料)	152,638	5.7	11.5	13.0
研究研修費	9,696			
資産減耗費	5,000			
(2) 医業外費用	116,234			
(うち支払利息)	32,602	1.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	257,469			
損益				
経常損益	-36,584			
純損益	-294,053			
累積欠損金	1,192,087			
経常収支比率	98.8		97.7	96.5
医業収支比率	88.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	19.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	79.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,609,640
1 固定資産	5,688,932
(1) 有形固定資産	5,471,000
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	217,932
2 流動資産	920,708
(1) 現金及び預金	537,598
(2) 未収金及び未収収益	364,794
(3) 貸倒引当金()	1,628
(4) 貯蔵品	19,944
3 繰延資産	-
負債合計	4,602,737
1 固定負債	3,334,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,334,155
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,262,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	346,204
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	86,512
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	811,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,551
(1) 長期前受金	32,366
(2) 長期前受金収益化累計額()	25,815
資本合計	2,006,903
1 資本金	3,198,990
2 剰余金	-1,192,087
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,192,087
負債・資本合計	6,609,640
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	716,854	600,010
資本勘定繰入	100,000	368,954
計	816,854	968,964

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	香美町
				病院名	公立香住病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,150 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	56.5	60.1	65.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	56.5	60.1	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	23.1	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	18,070	
決算規模(千円)	13,619,775	
標準財政規模(千円)	8,255,965	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	65.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.5
修正医業収益(千円)	701,022

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,279,745			
1 経常収益	1,279,593			
(1) 医業収益	748,456			
入院収益	279,605			
外来収益	376,115			
診療収入計	655,720			
その他医業収益	92,736			
(うち他会計負担金)	47,434			
(2) 医業外収益	531,137			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	295,858			
(うち長期前受金戻入)	254			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	152			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,250,802			
2 経常費用	1,248,239			
(1) 医業費用	953,151			
職員給与費	523,513	69.9	55.7	72.6
材料費	101,554	13.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	45,612	6.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	55,652	7.4	11.0	5.6
減価償却費	76,919	10.3	9.0	11.1
経費	248,870	33.3	23.3	31.9
(うち委託料)	93,198	12.5	11.5	13.0
研究研修費	2,239			
資産減耗費	56			
(2) 医業外費用	295,088			
(うち支払利息)	5,775	0.8	1.4	1.7
(3) 特別損失	2,563			
損益				
経常損益	31,354			
純損益	28,943			
累積欠損金	2,789,231			
経常収支比率	102.5		97.7	97.4
医業収支比率	78.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	26.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	45.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	75.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,531,038
1 固定資産	1,287,531
(1) 有形固定資産	1,246,339
(2) 無形固定資産	1,699
(3) 投資その他の資産	39,493
2 流動資産	243,507
(1) 現金及び預金	76,286
(2) 未収金及び未収収益	161,818
(3) 貸倒引当金()	125
(4) 貯蔵品	4,950
3 繰延資産	-
負債合計	525,524
1 固定負債	193,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	193,531
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	329,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	151,141
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,162
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	80,000
(8) 未払金及び未払費用	43,058
(9) 前受金及び前受収益	168
3 繰延収益	2,472
(1) 長期前受金	15,348
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,876
資本合計	1,005,514
1 資本金	3,775,545
2 剰余金	-2,770,031
(1) 資本金剰余金	19,200
(2) 利益剰余金	-2,789,231
負債・資本合計	1,531,038
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	135,196	343,292
資本勘定繰入	110,106	114,372
計	245,302	457,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	372.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	新温泉町
				病院名	浜坂病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	5,986 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	7	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未	満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	49	68.8	75.5	57.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	68.8	75.5	57.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	14.0	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,819	
決算規模(千円)	11,493,186	
標準財政規模(千円)	6,282,950	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	85.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	84.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.5
修正医業収益(千円)	546,908

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,287,722			
1 経常収益	1,108,926			
(1) 医業収益	590,622			
入院収益	345,462			
外来収益	161,273			
診療収入計	506,735			
その他医業収益	83,887			
(うち他会計負担金)	43,714			
(2) 医業外収益	518,304			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	108,981			
(うち長期前受金戻入)	768			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	178,796			
(うち他会計繰入金)	150,000			
総費用	1,292,718			
2 経常費用	1,291,410			
(1) 医業費用	822,618			
職員給与費	466,963	79.1	55.7	80.8
材料費	64,138	10.9	24.7	13.8
(うち薬品費)	46,682	7.9	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,456	3.0	11.0	4.9
減価償却費	44,114	7.5	9.0	12.9
経費	234,123	39.6	23.3	47.4
(うち委託料)	72,175	12.2	11.5	20.7
研究研修費	2,217			
資産減耗費	11,063			
(2) 医業外費用	468,792			
(うち支払利息)	2,076	0.4	1.4	1.3
(3) 特別損失	1,308			
損益				
経常損益	-182,484			
純損益	-4,996			
累積欠損金	4,009,204			
経常収支比率	85.9		97.7	96.7
医業収支比率	71.8		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	23.5		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	74.0		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,614,898
1 固定資産	1,115,619
(1) 有形固定資産	1,113,412
(2) 無形固定資産	1,176
(3) 投資その他の資産	1,031
2 流動資産	499,279
(1) 現金及び預金	326,669
(2) 未収金及び未収収益	161,135
(3) 貸倒引当金()	267
(4) 貯蔵品	11,742
3 繰延資産	-
負債合計	1,946,811
1 固定負債	1,475,935
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	536,815
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	451,910
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	487,210
(7) リース債務	-
2 流動負債	450,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,104
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	94,090
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,488
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	56,645
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	20,267
(1) 長期前受金	150,240
(2) 長期前受金収益化累計額()	129,973
資本合計	-331,913
1 資本金	3,592,150
2 剰余金	-3,924,063
(1) 資本剰余金	85,141
(2) 利益剰余金	-4,009,204
負債・資本合計	1,614,898
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	331,913
資本不足額(繰延収益控除後)()	311,646
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	152,695	302,695
資本勘定繰入	57,218	213,863
計	209,913	516,558

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	678.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	公立豊岡病院組合
	病院名	公立豊岡病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	42,303 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地
診療科数	28	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	463	89.2	88.0	91.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	55.4	60.9	74.2
感染症	4	-	-	-
計	518	85.2	84.6	88.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.1	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.0
修正医業収益(千円)	14,027,973

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,932,378			
1 経常収益	16,930,234			
(1) 医業収益	14,264,672			
入院収益	9,597,122			
外来収益	4,083,226			
診療収入計	13,680,348			
その他医業収益	584,324			
(うち他会計負担金)	236,699			
(2) 医業外収益	2,665,562			
(うち国・都道府県補助金)	358,151			
(うち他会計補助・負担金)	1,063,798			
(うち長期前受金戻入)	93,532			
(うち資本費繰入収益)	1,014,525			
(3) 特別利益	2,144			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,161,014			
2 経常費用	17,158,542			
(1) 医業費用	16,314,083			
職員給与費	7,547,411	52.9	55.7	49.1
材料費	4,143,898	29.1	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,117,144	14.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,934,595	13.6	11.0	12.7
減価償却費	1,403,789	9.8	9.0	8.4
経費	3,143,410	22.0	23.3	20.7
(うち委託料)	1,279,646	9.0	11.5	11.6
研究研修費	68,053			
資産減耗費	7,522			
(2) 医業外費用	844,459			
(うち支払利息)	195,050	1.4	1.4	1.2
(3) 特別損失	2,472			
損益				
経常損益	-228,308			
純損益	-228,636			
累積欠損金	1,480,126			
経常収支比率	98.7		97.7	98.8
医業収支比率	87.4		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	91.1		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,954,675
1 固定資産	24,758,619
(1) 有形固定資産	23,139,158
(2) 無形固定資産	33,132
(3) 投資その他の資産	1,586,329
2 流動資産	3,196,056
(1) 現金及び預金	43,378
(2) 未収金及び未収収益	3,053,175
(3) 貸倒引当金()	1,581
(4) 貯蔵品	96,989
3 繰延資産	-
負債合計	30,020,790
1 固定負債	23,371,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,603,437
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	159,164
(6) 引当金	2,608,009
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,663,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,221,376
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	656,358
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	740,000
(8) 未払金及び未払費用	1,950,420
(9) 前受金及び前受収益	3,581
3 繰延収益	985,594
(1) 長期前受金	2,340,113
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,354,519
資本合計	-2,066,115
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-4,844,937
(1) 資本剰余金	867,405
(2) 利益剰余金	-5,712,342
負債・資本合計	27,954,675
不良債務	246,154
実質資金不足額	246,154
資本不足額()	2,066,115
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,080,521

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,300,497	1,300,497
資本勘定繰入	1,151,476	1,151,476
計	2,451,973	2,451,973

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.6
健全化法上の資金不足額(千円)	246,154
健全化法上の資金不足比率(%)	1.3
地財法上の資金不足額(千円)	246,154
地財法上の資金不足比率(%)	1.3

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	公立豊岡病院組合
				病院名	公立豊岡病院日高医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,368 m ²	指定病院の状況			
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	63	48.0	41.3	33.1
療養	36	-	-	11.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	30.5	26.3	25.3
平均在院日数(一般病床のみ)		6.8	6.5	5.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.6
修正医業収益(千円)	1,753,066

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,063,578			
1 経常収益	2,063,578			
(1) 医業収益	1,753,066			
入院収益	531,767			
外来収益	1,159,001			
診療収入計	1,690,768			
その他医業収益	62,298			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	310,512			
(うち国・都道府県補助金)	584			
(うち他会計補助・負担金)	174,117			
(うち長期前受金戻入)	174			
(うち資本費繰入収益)	80,607			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,102,399			
2 経常費用	2,102,262			
(1) 医業費用	1,978,046			
職員給与費	956,147	54.5	55.7	72.6
材料費	525,783	30.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	310,216	17.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	207,598	11.8	11.0	5.6
減価償却費	124,210	7.1	9.0	11.1
経費	362,068	20.7	23.3	31.9
(うち委託料)	100,342	5.7	11.5	13.0
研究研修費	7,855			
資産減耗費	1,983			
(2) 医業外費用	124,216			
(うち支払利息)	13,527	0.8	1.4	1.7
(3) 特別損失	137			
損益				
経常損益	-38,684			
純損益	-38,821			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.2		97.7	97.4
医業収支比率	88.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	89.9		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,954,675
1 固定資産	24,758,619
(1) 有形固定資産	23,139,158
(2) 無形固定資産	33,132
(3) 投資その他の資産	1,586,329
2 流動資産	3,196,056
(1) 現金及び預金	43,378
(2) 未収金及び未収収益	3,053,175
(3) 貸倒引当金()	1,581
(4) 貯蔵品	96,989
3 繰延資産	-
負債合計	30,020,790
1 固定負債	23,371,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,603,437
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	159,164
(6) 引当金	2,608,009
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,663,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,221,376
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	656,358
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	740,000
(8) 未払金及び未払費用	1,950,420
(9) 前受金及び前受収益	3,581
3 繰延収益	985,594
(1) 長期前受金	2,340,113
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,354,519
資本合計	-2,066,115
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-4,844,937
(1) 資本金剰余金	867,405
(2) 利益剰余金	-5,712,342
負債・資本合計	27,954,675
不良債務	246,154
実質資金不足額	246,154
資本不足額()	2,066,115
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,080,521

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	174,117	174,117
資本勘定繰入	86,280	86,280
計	260,397	260,397

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.6
健全化法上の資金不足額(千円)	246,154
健全化法上の資金不足比率(%)	1.3
地財法上の資金不足額(千円)	246,154
地財法上の資金不足比率(%)	1.3

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	公立豊岡病院組合
				病院名	公立豊岡病院出石医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,574 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	6	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	54.2	54.3	59.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	54.2	54.3	59.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.8	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	485,423

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	722,645			
1 経常収益	722,645			
(1) 医業収益	511,859			
入院収益	311,767			
外来収益	141,428			
診療収入計	453,195			
その他医業収益	58,664			
(うち他会計負担金)	26,436			
(2) 医業外収益	210,786			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	151,617			
(うち長期前受金戻入)	2,002			
(うち資本費繰入収益)	53,477			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	744,810			
2 経常費用	744,761			
(1) 医業費用	720,874			
職員給与費	470,392	91.9	55.7	72.6
材料費	57,617	11.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	18,499	3.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,878	5.8	11.0	5.6
減価償却費	40,746	8.0	9.0	11.1
経費	147,845	28.9	23.3	31.9
(うち委託料)	33,179	6.5	11.5	13.0
研究研修費	3,292			
資産減耗費	982			
(2) 医業外費用	23,887			
(うち支払利息)	13,957	2.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	49			
損益				
経常損益	-22,116			
純損益	-22,165			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.0		97.7	97.4
医業収支比率	71.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	24.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	34.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	24.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	73.1		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,954,675
1 固定資産	24,758,619
(1) 有形固定資産	23,139,158
(2) 無形固定資産	33,132
(3) 投資その他の資産	1,586,329
2 流動資産	3,196,056
(1) 現金及び預金	43,378
(2) 未収金及び未収収益	3,053,175
(3) 貸倒引当金()	1,581
(4) 貯蔵品	96,989
3 繰延資産	-
負債合計	30,020,790
1 固定負債	23,371,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,603,437
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	159,164
(6) 引当金	2,608,009
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,663,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,221,376
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	656,358
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	740,000
(8) 未払金及び未払費用	1,950,420
(9) 前受金及び前受収益	3,581
3 繰延収益	985,594
(1) 長期前受金	2,340,113
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,354,519
資本合計	-2,066,115
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-4,844,937
(1) 資本金剰余金	867,405
(2) 利益剰余金	-5,712,342
負債・資本合計	27,954,675
不良債務	246,154
実質資金不足額	246,154
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,066,115
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,080,521

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	178,053	178,053
資本勘定繰入	54,372	54,372
計	232,425	232,425

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.6
健全化法上の資金不足額(千円)	246,154
健全化法上の資金不足比率(%)	1.3
地財法上の資金不足額(千円)	246,154
地財法上の資金不足比率(%)	1.3

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	公立豊岡病院組合
				病院名	公立朝来医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,699 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	104	81.3	80.4	62.4
療養	46	28.8	27.3	57.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	65.2	64.1	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	17.2	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.3
修正医業収益(千円)	1,513,046

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,865,299			
1 経常収益	1,865,299			
(1) 医業収益	1,564,514			
入院収益	1,016,751			
外来収益	441,031			
診療収入計	1,457,782			
その他医業収益	106,732			
(うち他会計負担金)	51,468			
(2) 医業外収益	300,785			
(うち国・都道府県補助金)	300			
(うち他会計補助・負担金)	97,616			
(うち長期前受金戻入)	1,928			
(うち資本費繰入収益)	193,321			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,206,000			
2 経常費用	2,205,873			
(1) 医業費用	2,121,619			
職員給与費	1,098,122	70.2	55.7	61.3
材料費	201,135	12.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	73,915	4.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	101,035	6.5	11.0	8.2
減価償却費	338,622	21.6	9.0	10.2
経費	477,481	30.5	23.3	30.5
(うち委託料)	221,013	14.1	11.5	13.0
研究研修費	6,175			
資産減耗費	84			
(2) 医業外費用	84,254			
(うち支払利息)	40,579	2.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	127			
損益				
経常損益	-340,574			
純損益	-340,701			
累積欠損金	8,467,792			
経常収支比率	84.6		97.7	96.5
医業収支比率	73.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.8		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,954,675
1 固定資産	24,758,619
(1) 有形固定資産	23,139,158
(2) 無形固定資産	33,132
(3) 投資その他の資産	1,586,329
2 流動資産	3,196,056
(1) 現金及び預金	43,378
(2) 未収金及び未収収益	3,053,175
(3) 貸倒引当金()	1,581
(4) 貯蔵品	96,989
3 繰延資産	-
負債合計	30,020,790
1 固定負債	23,371,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,603,437
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	159,164
(6) 引当金	2,608,009
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,663,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,221,376
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	656,358
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	740,000
(8) 未払金及び未払費用	1,950,420
(9) 前受金及び前受収益	3,581
3 繰延収益	985,594
(1) 長期前受金	2,340,113
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,354,519
資本合計	-2,066,115
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-4,844,937
(1) 資本金剰余金	867,405
(2) 利益剰余金	-5,712,342
負債・資本合計	27,954,675
不良債務	246,154
実質資金不足額	246,154
資本不足額()	2,066,115
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,080,521

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	149,084	149,084
資本勘定繰入	193,321	193,321
計	342,405	342,405

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.6
健全化法上の資金不足額(千円)	246,154
健全化法上の資金不足比率(%)	1.3
地財法上の資金不足額(千円)	246,154
地財法上の資金不足比率(%)	1.3

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	公立八鹿病院組合
	病院名	公立八鹿病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	35,498 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪
診療科数	22	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	338	72.0	65.7	62.9
療養	35	83.8	64.3	51.6
結核	7	6.5	11.0	20.8
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	71.9	64.5	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	19.0	20.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.3
修正医業収益(千円)	5,957,161

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,949,907			
1 経常収益	7,938,894			
(1) 医業収益	5,958,931			
入院収益	4,170,047			
外来収益	1,517,143			
診療収入計	5,687,190			
その他医業収益	271,741			
(うち他会計負担金)	1,770			
(2) 医業外収益	1,979,963			
(うち国・都道府県補助金)	4,208			
(うち他会計補助・負担金)	361,292			
(うち長期前受金戻入)	533,565			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,013			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,401,992			
2 経常費用	8,389,128			
(1) 医業費用	6,980,170			
職員給与費	3,956,888	66.4	55.7	57.0
材料費	940,120	15.8	24.7	24.5
(うち薬品費)	456,392	7.7	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	408,766	6.9	11.0	11.3
減価償却費	742,879	12.5	9.0	9.3
経費	1,304,330	21.9	23.3	22.1
(うち委託料)	507,205	8.5	11.5	11.1
研究研修費	16,861			
資産減耗費	19,092			
(2) 医業外費用	1,408,958			
(うち支払利息)	137,925	2.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	12,864			
損益				
経常損益	-450,234			
純損益	-452,085			
累積欠損金	1,783,965			
経常収支比率	94.6		97.7	96.4
医業収支比率	85.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	4.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	90.3		85.7	85.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,678,858
1 固定資産	14,778,577
(1) 有形固定資産	12,650,221
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	2,124,372
2 流動資産	2,900,281
(1) 現金及び預金	1,660,358
(2) 未収金及び未収収益	1,145,802
(3) 貸倒引当金()	4,596
(4) 貯蔵品	84,003
3 繰延資産	-
負債合計	11,640,702
1 固定負債	8,763,886
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,567,599
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,189,528
(7) リース債務	6,759
2 流動負債	2,062,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	799,850
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	680,789
(6) リース債務	3,983
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	505,979
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	814,766
(1) 長期前受金	4,172,625
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,357,859
資本合計	6,038,156
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-1,709,062
(1) 資本剰余金	1,408
(2) 利益剰余金	-1,710,470
負債・資本合計	17,678,858
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	390,902	363,062
資本勘定繰入	488,045	571,959
計	878,947	935,021

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	公立八鹿病院組合
				病院名	公立村岡病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,995 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	6	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	42	54.2	52.4	59.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	54.2	52.4	59.9
平均在院日数(一般病床のみ)		6.3	6.6	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収益(千円)	457,215

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	601,411			
1 経常収益	600,010			
(1) 医業収益	457,215			
入院収益	253,770			
外来収益	194,273			
診療収入計	448,043			
その他医業収益	9,172			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	142,795			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	81,585			
(うち長期前受金戻入)	14,238			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,401			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	581,714			
2 経常費用	581,199			
(1) 医業費用	527,185			
職員給与費	341,439	74.7	55.7	80.8
材料費	92,979	20.3	24.7	13.8
(うち薬品費)	67,421	14.7	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,314	3.6	11.0	4.9
減価償却費	31,403	6.9	9.0	12.9
経費	60,034	13.1	23.3	47.4
(うち委託料)	25,358	5.5	11.5	20.7
研究研修費	1,271			
資産減耗費	59			
(2) 医業外費用	54,014			
(うち支払利息)	392	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	515			
損益				
経常損益	18,811			
純損益	19,697			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.2		97.7	96.7
医業収支比率	86.7		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	89.2		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,678,858
1 固定資産	14,778,577
(1) 有形固定資産	12,650,221
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	2,124,372
2 流動資産	2,900,281
(1) 現金及び預金	1,660,358
(2) 未収金及び未収収益	1,145,802
(3) 貸倒引当金()	4,596
(4) 貯蔵品	84,003
3 繰延資産	-
負債合計	11,640,702
1 固定負債	8,763,886
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,567,599
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,189,528
(7) リース債務	6,759
2 流動負債	2,062,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	799,850
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	680,789
(6) リース債務	3,983
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	505,979
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	814,766
(1) 長期前受金	4,172,625
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,357,859
資本合計	6,038,156
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-1,709,062
(1) 資本剰余金	1,408
(2) 利益剰余金	-1,710,470
負債・資本合計	17,678,858
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	74,881	81,585
資本勘定繰入	12,133	11,902
計	87,014	93,487

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	北播磨総合医療センター企業団
				病院名	北播磨総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,109 m ²	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	450	84.8	88.9	87.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	84.8	88.9	87.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.2	12.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.1
修正医業収益(千円)	14,830,418

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,167,034			
1 経常収益	17,106,399			
(1) 医業収益	15,146,828			
入院収益	10,390,256			
外来収益	4,090,813			
診療収入計	14,481,069			
その他医業収益	665,759			
(うち他会計負担金)	316,410			
(2) 医業外収益	1,959,571			
(うち国・都道府県補助金)	22,881			
(うち他会計補助・負担金)	1,230,927			
(うち長期前受金戻入)	549,963			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	60,635			
(うち他会計繰入金)	40,000			
総費用	17,324,220			
2 経常費用	17,249,095			
(1) 医業費用	16,458,088			
職員給与費	7,018,328	46.3	55.7	54.0
材料費	4,758,926	31.4	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,873,584	12.4	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,793,398	18.4	11.0	12.2
減価償却費	1,430,883	9.4	9.0	7.9
経費	3,166,203	20.9	23.3	19.2
(うち委託料)	1,587,830	10.5	11.5	9.3
研究研修費	77,141			
資産減耗費	6,607			
(2) 医業外費用	791,007			
(うち支払利息)	118,009	0.8	1.4	1.3
(3) 特別損失	75,125			
損益				
経常損益	-142,696			
純損益	-157,186			
累積欠損金	45,680			
経常収支比率	99.2		97.7	98.8
医業収支比率	92.0		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	90.2		85.7	89.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,484,368
1 固定資産	13,271,619
(1) 有形固定資産	12,416,298
(2) 無形固定資産	152,415
(3) 投資その他の資産	702,906
2 流動資産	4,212,749
(1) 現金及び預金	2,126,914
(2) 未収金及び未収収益	1,984,358
(3) 貸倒引当金()	5,578
(4) 貯蔵品	102,750
3 繰延資産	-
負債合計	16,637,405
1 固定負債	10,444,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,795,902
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,648,719
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,828,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	703,757
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	434,814
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,625,053
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,364,227
(1) 長期前受金	8,140,770
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,776,543
資本合計	846,963
1 資本金	428,387
2 剰余金	418,576
(1) 資本金剰余金	464,256
(2) 利益剰余金	-45,680
負債・資本合計	17,484,368
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,444,945	1,587,337
資本勘定繰入	372,418	12,663
計	1,817,363	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。